

News Letter

梅の花 (米子市)

2022年
3月

中国四国農政局
鳥取県拠点

『と』っとり県の『と』っておき、
ただいまおいしく熟（売）れてます

現在、鳥取県内のいちごが出荷の最盛期を迎え、鳥取県産いちごのブランド化を目指す「鳥取いちごブランド化推進協議会」では販売促進に力を入れています。なかでも「とっておき」は鳥取県育成のオリジナル品種です。

鳥取県は秋から冬にかけて曇ることが多く、日照時間が少ないため、栽培できる品種が限られていました。このため鳥取県での栽培に適したいちごの開発が求められ、20年の月日をかけ、「とっておき」が世に出ることとなったのです。

知名度アップのため、鳥取県内在住のイラストレーターの方を起用した「とっておき」を紹介するポスターカードを配布するなど、話題を呼びました。

2018年の品種登録から4年、今では多くの農家で「とっておき」が作付けされており、直売所などですぐに売り切れる人気のいちごとなりました。



「とっておき」ポスター
協力：鳥取いちごブランド化推進協議会

鳥取砂丘コナン
空港（鳥取市）近くの農園でいちごを栽培する「リトリファーム」さんでは、早くから「とっておき」の栽培に取り組んでおり、ジューシーな甘さが人気だそうです。販売は、

ネットでの直販と契



赤く熟れた「とっておき」そろそろ食べ頃です



ハウスにはいちごが鈴なりに実っています

約スーパー及び直売所がメインとのこと。

また、「リトリファーム」さんでは、シーズンになるといちご狩りを行っています。今年のいちご狩りは2月23日から始まり、3月の予約はほぼ埋まっているとのこと。今年は5月いっぱいまでは続ける予定ですが、詳細についてはホームページで確認してほしいとのこと。

ヘタまで赤く、ほどよい酸味とジューシーな味わいの「とっておき」は人気急上昇中です。直売所やスーパーで見つけた際には是非お買い上げいただき、「とっておき」の味を楽しんではいかがでしょうか。

リトリファームホームページ

<https://ritorifarm.com/>（外部サイト）

トピックス

倉吉農業高校食品科食品コースがJFS-B規格証明取得

令和4年1月、倉吉農業高校食品科食品コースがJFS-B規格適合証明を取得しました。これは、全国の高等学校では2番目、鳥取県内では5番目の快挙です。

JFS(Japan Food Safty)規格とは、食品の安全管理の取り組みを、第三者が認証する日本発・国際レベルの食品安全管理規格です。

取得にあたって、生徒自ら加工食品製造に係る



証明書と加工品を手にする食品コースの皆さん

仕入れ、製造、出荷までの工程で、安全管理のマニュアル化に一から取り組み、食肉製品（ハム、ベーコン、ウインナー）、農産加工食品（ふくじん漬け、らっきょ甘酢漬け）の安全管理が適合となり、証明書が発行されました。取得した適合証明書



倉吉農業高校ではこれらの認証を取得して終わりではなく、今後も食品科での授業や実習において、JFS-B規格に沿った食品の安全管理を実践することで、食品業界で活躍できる人材になってほしいとのことです。

(写真提供: 鳥取県立倉吉農業高校
ホームページ <https://cmsweb2.torikyo.ed.jp/kurano-h/>)

インフォメーション

しめよう！シートベルト

農林水産業や食品産業においては、これまでも各分野の課題に対応した作業安全対策を講じてきたところですが、引き続き死傷事故が多発しています。

これをうけて、3月～5月は、春の全国農作業安全確認運動を展開中です。

特に春は乗用型トラクターを活用した作業が多く、転落、転倒による事故も多く発生しています。

転落・転倒時等の死亡事故を大幅に低減できるシートベルトの装着を徹底することをお願いします。

(「農林水産業・食品産業の現場の新たな作業安全対策」

ホームページ https://www.maff.go.jp/j/kanbo/sagyau_anzen/)



編集: 中国四国農政局 鳥取県拠点

〒680-0845 鳥取市富安2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

TEL (0857)22-3131(代) FAX(0857)27-9672 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>